

平成30年第1回定例会（6月議会）

所管事項審査関係資料

平成30年6月27日

企 画 振 興 部

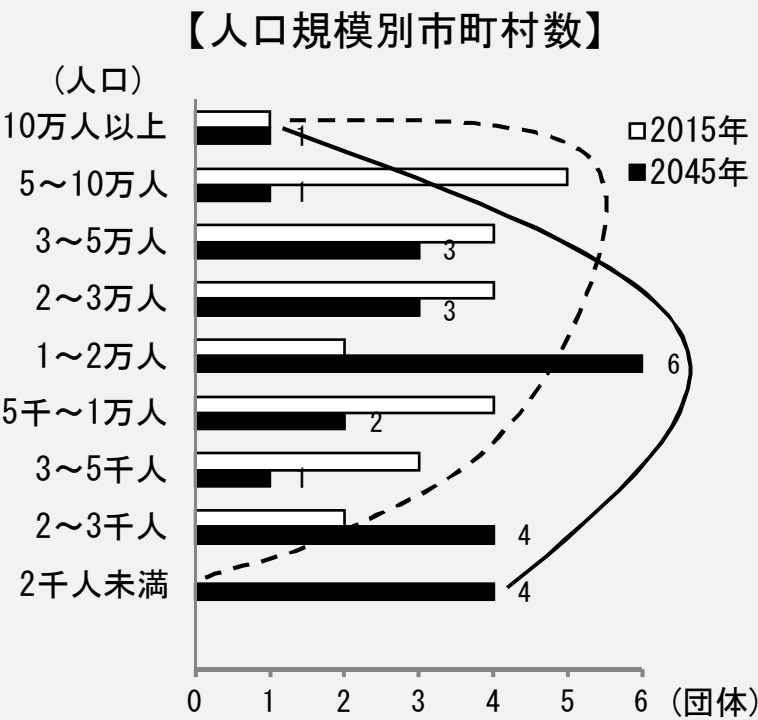
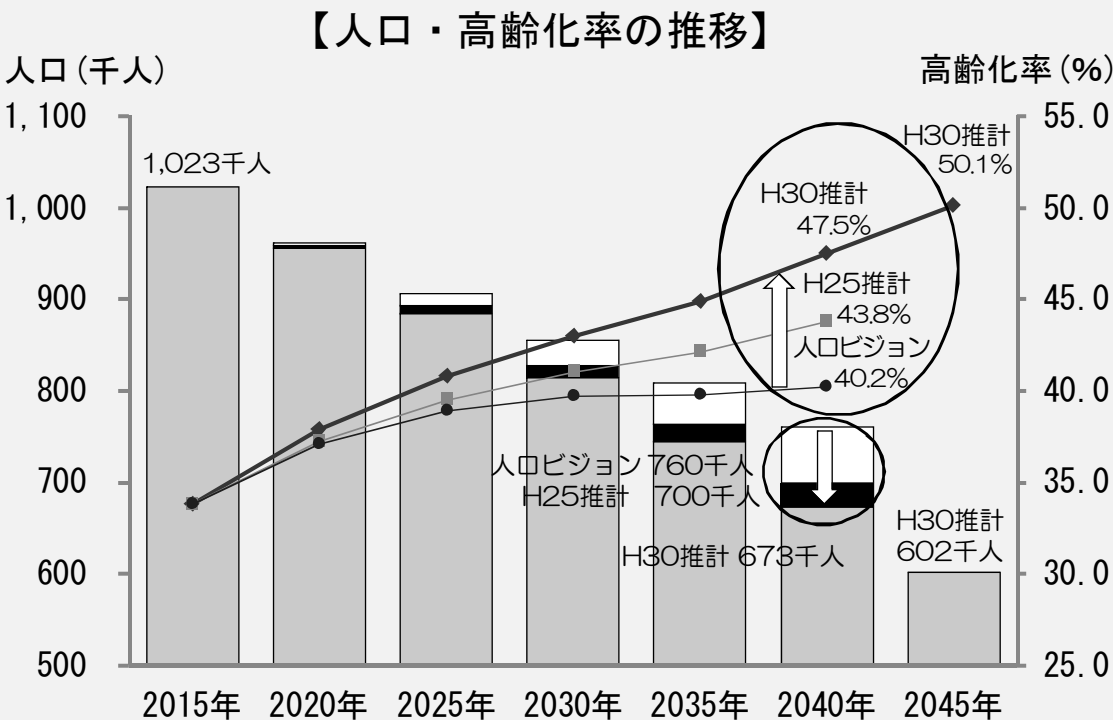
【所管事項】

総合政策課	第3期ふるさと秋田元気創造プラン加速化パッケージについて	・・・1
〃	平成29年度読書活動推進施策の概要について	・・・3
市町村課	人口減少下における県と市町村及び市町村間の連携強化について	・・・5

第3期ふるさと秋田元気創造プラン加速化パッケージについて

総合政策課

国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計



【市町村別人口】

市町村名	人口			うち生産年齢人口		
	2015年	2045年	減少率	2015年	2045年	減少率
秋田市	315,814	225,923	▲ 28.5	190,118	102,371	▲ 46.2
能代市	54,730	27,564	▲ 49.6	28,835	10,351	▲ 64.1
横手市	92,197	52,235	▲ 43.3	49,935	21,355	▲ 57.2
大館市	74,175	42,577	▲ 42.6	39,874	18,413	▲ 53.8
男鹿市	28,375	10,352	▲ 63.5	14,495	3,030	▲ 79.1
湯沢市	46,613	23,585	▲ 49.4	25,425	9,538	▲ 62.5
鹿角市	32,038	17,197	▲ 46.3	16,777	7,399	▲ 55.9
由利本荘市	79,927	45,848	▲ 42.6	44,792	20,030	▲ 55.3
潟上市	33,083	20,632	▲ 37.6	19,008	8,635	▲ 54.6
大仙市	82,783	48,103	▲ 41.9	45,386	21,513	▲ 52.6
北秋田市	33,224	15,877	▲ 52.2	16,769	6,051	▲ 63.9
にかほ市	25,324	12,141	▲ 52.1	13,804	4,450	▲ 67.8
仙北市	27,523	14,231	▲ 48.3	14,200	5,639	▲ 60.3
小坂町	5,339	2,051	▲ 61.6	2,634	729	▲ 72.3
上小阿仁村	2,381	904	▲ 62.0	1,081	289	▲ 73.3
藤里町	3,359	1,207	▲ 64.1	1,625	378	▲ 76.7
三種町	17,078	7,415	▲ 56.6	8,858	2,682	▲ 69.7
八峰町	7,309	2,876	▲ 60.7	3,673	933	▲ 74.6
五城目町	9,463	4,010	▲ 57.6	4,753	1,514	▲ 68.1
八郎潟町	6,080	2,925	▲ 51.9	3,233	1,043	▲ 67.7
井川町	4,986	2,445	▲ 51.0	2,650	824	▲ 68.9
大湯村	3,110	1,897	▲ 39.0	1,720	812	▲ 52.8
美郷町	20,279	11,029	▲ 45.6	11,024	4,580	▲ 58.5
羽後町	15,319	7,354	▲ 52.0	8,440	2,837	▲ 66.4
東成瀬村	2,610	1,271	▲ 51.3	1,393	536	▲ 61.5
合計	1,023,119	601,649	▲ 41.2	570,502	255,932	▲ 55.1

【人口減少の加速化】

- 2040年の本県の推計人口は673千人で、前回推計(700千人)よりも27千人下振れ。
- 2045年の本県の推計人口は602千人で、2015年(1,023千人)の59%にまで減少(減少率▲41.2%・全国1位)。

【高齢化の進行】

- 2040年の本県の高齢化率(65歳以上の割合)は47.5%で、前回推計(43.8%)よりも3.7ポイント上昇。
- 2045年の本県の高齢化率は50.1%(全国1位)。

【市町村の人口規模の縮小】

- 2045年の各市町村の推計人口は、2015年の36～72%にまで減少し(最大減少率▲64.1%)、人口規模の縮小が深刻化。
- 特に、少子化に伴い生産年齢人口(15～64歳)が大きく減少し(最大減少率▲79.1%)、労働力不足により地域経済が停滞するおそれ。

かつて経験したことのない社会経済情勢の変化に対応しつつ、県民が未来に向かって明るい希望を抱けるよう、「攻め」と「守り」の両面から「4つの元気創造」を加速化

第3期ふるさと秋田元気創造プラン加速化パッケージ

6月補正予算等

(※は予算計上せずに開始可能なもの)

I 加速化する人口減少への対応

1. 雇用の場の創出、人材育成・確保

- 建設ICT研修拠点施設を活用した産業人材の確保・育成
- ICT人材や成長分野の専門人材確保に向けた採用活動の展開支援
- 採用担当者のスキルアップやSNSを活用した魅力発信による企業の採用力強化
- 能代港の洋上風力発電拠点化に向けた調査・検討

2. 県内定着・回帰、移住等

- あきた回帰キャンペーンの実施や保護者を通じた学生への県内回帰に向けた情報発信
- 高校へのキャリア探究アドバイザーの配置と就職支援員の増員
- 事業承継を含めた「くらし×しごと」の情報発信の強化※
- 出生等に関する社会学的観点からの市町村別分析※

3. 交流人口の拡大

- JR東日本と連携した観光プロモーションの更なる強化
- 「秋田犬ふれあいライン」の充実に向けた秋田内陸線の魅力向上
- スノーリゾートブランド化を目指した宿泊施設の魅力向上に向けた検討※
- 中国東北部からのインバウンド誘客の拡大
- 大型クルーズ船の受入環境の整備

II 生産性向上への挑戦

- 幅広い分野における生産性向上に向けたデジタルイノベーションの導入促進
- 高校生等がプログラミングや先進技術を学ぶ仕組みの構築によるICT人材の育成
- 介護人材の負担軽減・省力化に向けた介護・福祉機器の導入・開発支援
- 中山間地域における太陽光発電設備を活用した高収益農業の実証試験
- 畜産経営の大規模化に向けた施設整備に対する支援
- 搾乳ロボット等の省力化システム導入牛舎の整備に対する支援
- 原木供給等の低コスト化や木材加工の効率化に向けた機械・施設整備に対する支援等

III 急速に進行する高齢化への対応

- ICTを活用した遠隔画像連携システムの構築や診療・介護情報の共有等を通じた医療・介護提供体制の充実に向けた検討※(一部先行実施)
- 安全・安心な医療・介護提供体制の確保のための施設整備支援等
- 薬業連携(薬局薬剤師と病院薬剤師の連携)による退院後の患者の安心につながる適切な服薬管理の推進

IV 人口減少社会を踏まえた地域活性化への対応

- 地域住民が主体となったコミュニティ生活圏形成の推進
- 市町村間の連携促進※
(例)観光プロモーションや企業の人材確保などの施策・事業に関する県と複数市町村、市町村間の連携拡大
- 定型的な行政事務等へのICT・AI等の導入に向けた検討と利活用例の市町村への提示※

今後の取組の方向性

I 加速化する人口減少への対応

1. 雇用の場の創出、人材育成・確保

- IoT・AI等先進技術導入企業への支援拡充やモデル企業の育成
- 女性や若者にターゲットを絞ったクラウドファンディングなど新たな資金調達手法等を活用した起業・スタートアップ支援
- 県立大学との連携による先進技術を導入した若手農業経営者群の育成

2. 県内定着・回帰、移住等

- 県外出身者を交えた秋田の将来像の分析と県民への発信によるふるさと回帰意識の醸成
- 大学生等を対象とした校種、学部・学科に応じたきめ細かな県内就職支援
- 移住・定住世帯の空き家リフォームやZEH導入への支援の充実
- 家庭や職場、地域全体で結婚を応援する気運の醸成等
- 秋田の優れた教育環境を生かした教育留学の拡充

3. 交流人口の拡大

- ICTの活用や外国語での案内機能の向上によるインバウンド受入環境の整備
- スノーリゾートブランド化を通じた観光地域づくりの推進
- 高齢者や障がい者にもやさしいユニバーサルツーリズムの推進
- 祭り体験ツアーの実施による地域の祭りの担い手確保と国内外との交流拡大
- 山菜、伝統野菜、溪流づくりなど中山間ならではの地域資源を活用した魅力ある里づくり
- 道の駅の魅力アップに向けた広域連携等への支援
- 官民連携による国際クルーズ拠点の形成

II 生産性向上への挑戦

- 秋田デジタルイノベーション推進コンソーシアム、県内高等教育機関等と連携した超省力化技術の研究開発、即戦力となるICT人材の育成
- ビジネスプロセス改革やIoT、AI、RPAの活用促進等による経営マネジメント全体での超省力化に向けた研究
- 先進技術を活用した人口減少下における課題解決型の高機能製品・サービスの開発
- 各リソースの有効活用に向けたシェアリングエコノミーの導入に関する検討
- 介護ロボットの導入に対する支援拡充
- 観光版「カイゼン」などによる宿泊施設の生産性向上や付加価値創造に向けた支援
- 大規模農業の展開による生産性の飛躍的な向上に向けたロボット農機(ドローン、自動運転トラクター等)の研究・実証

III 急速に進行する高齢化への対応

- 高齢者世帯等の除排雪活動実施団体の更なる設立促進
- 高齢者向け食材開発支援や宅配業者と連携した配送システムの実証試験
- 健康寿命日本一を目指した減塩・野菜摂取等の推進を図る仕組みの構築
- 養成施設での修学等に係る経済的負担の軽減など医療・介護人材の確保対策の強化
- 秋田県版健康経営優良事業所認証制度の創設
- 地域防災活動へのプラチナ世代の参加促進

IV 人口減少社会を踏まえた地域活性化への対応

- 地域振興局単位の「持続可能な地域づくり計画」の作成と市町村支援
- 住民組織等によるデマンド交通やスクールバス活用等による「地域の足」の確保
- 住民の利便性向上に向けた健(検)診を受けやすい環境の整備促進と秋田県版標準保健指導等プログラムの開発による生活習慣病予防の推進
- 賑わい創出に向けた空き家等のリノベーションの推進

各主体が自らの
の特長・能力
を生かして積
極的に行動

元気A

人口減少の
抑制と地域
を守るシス
テムの構築

元気B

県内産業の
「稼ぐ力」
の向上と質
の高い雇用
の創出

元気C

交流人口の
拡大と交通
基盤の充実

元気D

健康で安心
な生活の実
現と未来を
支える人づ
くり

多様な主体が
連携を強化し
て相乗効果を
発揮

多様な主体が問題意識を共有し、「オール秋田」で取組を推進
「県民一人ひとりが「秋田の元気づくり」のプレイヤー」

業務の効率化や行政経費の削減、健全な財政運営に有効な取組の推進

(中長期の定員管理、民間資金の活用等)

「攻め」の取組

人口減少下における
経済力の維持

「守り」の取組

平成29年度読書活動推進施策の概要について

総合政策課

平成29年度は、第2次秋田県読書活動推進基本計画(平成28～32年度)に基づき、「家庭」「学校」「職場」「地域」といった県民の生活の場に応じた施策を展開するとともに、県と市町村が協働で読書活動を推進するために設置した「秋田県読書活動推進連絡協議会」の取組を充実するなど、県を挙げて読書活動を推進した。

また、平成29年6月に「企業版ふるさと納税制度（地方創生応援税制）」を活用した「読書活動推進パートナー支援事業」等をスタートさせ、県民の読書習慣の向上に向けた取組を推進した。

1 平成29年度の主な取組

(1) 家庭における読書活動の推進
○「家族で読書おすすめ50選VOL. 2」の全小学1年生への配布 (199校 7,498部)
○市町村との協働により作成した「絵本であそぼ！－8地域版－」の幼稚園や保育所等への配布 (649か所 19,470部)
(2) 学校・職場における読書活動の推進
○企業における読書活動の取組等を紹介するリーフレットの作成・配布 (18,000部 全高校2年生、県内図書館、書店等)
○県立図書館における学校図書館への貸出図書セットの大幅な更新 (1,966冊購入 11,147冊貸出)
○小・中・高等学校の学校図書館への教育庁専門職員による先進事例の紹介・助言 (17校訪問)
(3) 地域における読書活動の推進
○プロスポーツチームのマスコットキャラクターを活用した絵本の読み聞かせ等のイベント開催 (市町村立図書館4館 参加者約150名)
○県民読書の日(11月1日)を中心に読書イベントを集中開催する「秋田県読書フェスタ」の全市町村での展開 (全県で171イベント)
○県立図書館から市町村立図書館等への図書セットの貸出 (24,403冊貸出)
(4) 県民協働による読書活動の推進
○県民からの寄贈による「読んだッチ・リレー文庫」の配置 (寄贈冊数2,269冊 寄贈者数133名 配置施設数86か所)
○横手市や民間団体等と連携した「ふるさとの文学と読書のつどい2017 in 横手」の開催 (10月28日 横手市平鹿生涯学習センター 参加者約350名)

(5)「企業版ふるさと納税制度（地方創生応援税制）」活用事業

① 読書活動推進パートナー支援事業

○ 取組内容

県民が身近な所で読書に親しむことができる環境づくりを推進するため、企業や団体と連携して施設内や地域のコミュニティスペースなどに図書コーナー等を設置する5市町（8施設）に対し、図書や本棚の購入費などの初期費用を助成した（上限150千円）。

○ 実施状況

- ・小坂町（小坂町診療所、多世代交流館「みんなのお家だんらん」）
- ・藤里町（いとく藤琴店、みんなの作戦会議室「かもや堂」）
- ・井川町（スーパーセンターアマノ井川店）
- ・由利本荘市（由利組合総合病院、赤田地区お互いさまスーパー）
- ・美郷町（株式会社ヤマダフーズ）

② 読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業

○ 取組内容

県民の読書習慣の一層の向上に向けて、読書に親しむ段階をホップ・ステップ・ジャンプの3つに分け、それぞれの段階に応じた取組を行った。

○ 実施状況

- ・ホップ（読書との出会い）
…超大型絵本のおはなし会（4会場 参加者1,038名）等
- ・ステップ（読み聞かせをして本の楽しさを伝える）
…世代別読み聞かせボランティア養成講座（参加者139名）等
- ・ジャンプ（読書の価値や意味を発信する）
…世代別ビブリオバトル大会（地区大会6会場 出場者70名）等

2 今後の対応

- 平成29年度の県民意識調査では、「週3時間以上（または1日30分以上）読書をしている人の割合」が、第2次計画に掲げる目標の「70%以上」に対し、40.1%となっているほか、前年度の47.9%を下回っており、特に20歳代と60歳以上の落ち込みが大きい。
- こうした状況を踏まえ、県民が身近な所で読書に親しむことができる環境づくりを一層進めるほか、地域における読み聞かせボランティアの養成など、読書の楽しさを発信できる人材の育成を図っていく。
- また、若者世代の読書離れに対応するため、SNS等を活用した動画配信や多彩なイベントの開催など、若者に訴求できる取組を展開するとともに、高齢者に対しては、シニア向け読み聞かせ講座や大活字本を周知するなど、世代に応じた情報提供を行っていく。

人口減少下における県と市町村及び市町村間の連携強化について

市町村課

1 目的

人口減少がこれまでの想定よりも急速に進むとの推計を踏まえ、県と市町村の協働・連携の新たな取組を進めるほか、施策や事業に係る市町村間の連携を促進し、行政サービスの安定的な提供を図る。

2 これまでの取組

住民サービスの向上や、事務事業の効果的・効率的な実施、行政コストの縮減等を図るため、県と市町村における同様又は類似の事務について、次のような協働・連携の取組を進めてきた。

- ・市町村税の徴収額の確保や市町村職員のスキルアップに向けた秋田県地方税滞納整理機構の設置
- ・平鹿地域振興局と横手市の商工観光、農林、建設の各部局のワンフロア化
- ・生活排水の処理により発生する汚泥を集約して資源化する広域汚泥資源化施設の県北地区（3市3町1組合）での整備 など

3 今後の進め方

これまでの取組を産業振興や観光振興を含む広範囲な分野に拡大していくほか、市町村がそれぞれの強みや特徴を生かせるよう役割を分担する連携についても促進するものとし、例えば市町村がその区域を越えて他市町村の住民にサービスを提供する取組など、柔軟かつ新たな発想で取り組んでいく。

（1）県と市町村との連携

新たな連携の構築に向けて全庁的な再点検と対象事務の掘り起こしを行っており、今後、関係部局や市町村と協議しながら具体的な取組を進めていく。

（2）市町村間の連携

市町村の連携に係る実情やニーズを把握するため、市町村への訪問や調査を行っており、今後、関係市町村と協議しながら具体的な取組を促進していく。

（3）その他

当面、関係市町村と新たな連携について検討する場を3地域程度で設けることとしているほか、それ以外の取組についても適宜準備を進め、次年度以降、順次具体化を図っていく。